

しまねの社会教育だより

島根県西部社会教育研修センター
島根県東部社会教育研修センター
vol. 14



特集 しまねの公民館のこれから

2013.
8月号

photo 「基礎研修」の様子〔上〕 サン・レイク「主催事業」〔下〕



前県公連会長 福間敬明さんに聴く 「しまねの公民館」のこれから

平成7年から、島根県公民館連絡協議会会長を務められた福間敬明氏が今年5月、会長職を退かれました。18年間の長い間、島根県の公民館に関わってこられた福間敬明氏に、「しまねの公民館」がこれまでに歩んできた足跡とこれからの公民館や社会教育に期待することをお聴きしました。

公民館に関わるものの思いをかたちに

全国から注目されている「実証!『地域力』醸成プログラム」は、どのようにして始まったのですか?



平成18年に当時の県生涯学習課の鴨木課長（現県教育次長）と藤原教育長と私との話し合いの中で、教育長が提案したものだ。

例年、県公民館連絡協議会が主催する研究集会で、優良公民館・公民館職員の県教育長表彰を行っているが、平成18年度は公民館の中四国大会が島根県で開催され、教育長が表彰状を渡すことができなかった。そこで同年12月に教育長室で該当者に直接手渡された。そのあと、「我々にもいろいろな思いがある。我々の意見を聞くような機会をもっていただけないか。」と話したら、教育長がすぐに懇談の場を設けてくださった。そこで、県公連の正副会長、藤原教育長、

鴨木課長とで懇談して公民館が活性化するような事業をしようということで補正予算として提出した。具体的な取組は鴨木課長を中心に生涯学習課が考えた。その結果、補正で予算がついて、平成19年度から「実証!『地域力』醸成プログラム」が始まった。

地域の元気は公民館から

なぜ「実証!『地域力』醸成プログラム」が今のように盛り上がったのでしょうか?

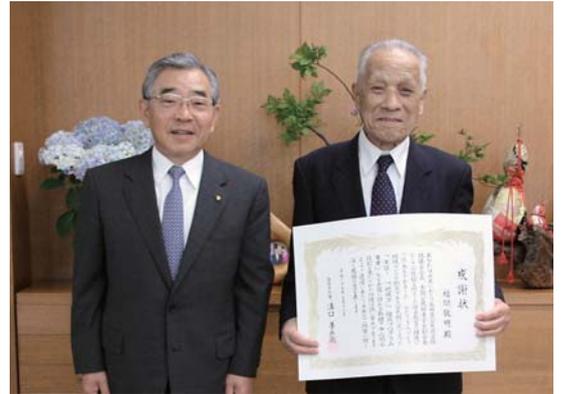
ここまで盛りあがるとは思っていなかった。ただ私が思っていたことは、島根の地域を何とかしようということだった。ほうっておいたら消えてしまう地域を何とかしようというね。

文部事務次官通牒（昭和21年）の公民館構想は、公民館で住民に地域課題とか社会共通課題を勉強してもらって、その力を使って地域を日本を復興していこうというものだった。今、島根県はどんどん人口が減っていく。それではいけないから、戦後日本を復興させようとしたその考えで、地域を元気づけていきたい。元気づける原動力になるのは公民館しかないでしょう。市町村合併で市町村のエリアが広がって学校を統合する、役場もなくなる。残るのは何か？**公民館しかない**。だから公民館が元気を出して住民と一緒に頑張って頑張りしかない。人に頼るんじゃない。自助努力だ。そこで、公民館をもっと元気づける、公民館というものが何のためにあるのか、もう一回考え直したことが「実証!『地域力』醸成プログラム」につながった。

社会教育主事講習を島根で

今まで関わられたお仕事で印象に残っているものは何ですか？

島根の**公民館活動、社会教育が盛んになったもとは、教育だ**。「教員は、夏休みに社会教育主事講習に広島大学へ行ける。しかし社会教育に携わる公民館職員は行けない。だから島根で講習ができないだろうか。」と、たびたび県教委に言っていた。県教委から文科省に問い合わせをしてもらっているうちに「今なら島根県で社会教育主事講習ができる。」と文科省の情報が入ってきた。私は、すぐに上京して午前中に文科省の生涯学習政策局に行き、午後からは財務省の総括審議官に会い、公民館の活動を話した。1週間後、県の生涯学習課から電話があり「社会教育主事講習を島根でやれることになりました。」と言われた。痛快だった。それが島根の社会教育の力を底上げしている一つの要因ではないか。社会教育主事講習の1、2年目は城北公民館と朝日公民館でやっていた。社会教育主事講習を島根県でやれるようになったということが、一番印象に残っている。現在では、東部と西部と両方で受講できる。こういうことをやっている県はほかにない。



知事より感謝状を贈呈される福間氏(平成25年5月)

社会教育が一番大事!!

これからの公民館や社会教育に期待されることは？

難しいが、公民館が一番やらなければいけないことは、「今自分たちが取り組む課題は何が最も大事か」、ということを見分ける力をもたなければいけないことだ。**地域で今、何が大事かを見抜く力**が館長にも職員にもなければいけない。そういう時に役立つのが、社会教育主事講習などで授かった力だ。まだ実現はしていないが、社会教育主事の資格をもった公民館職員が、社会教育主事を名乗ることができるように考えてほしい。人口は減る、高齢化は進む、金が少なくなる、そんな中で自分たちができることを自分たちでやろうとする、いわゆる「**地域力醸成**」が**地方を元気づけるもと**になる。島根県では公民館、教育委員会、知事部局の三者が一緒に「**地域力醸成**」をやっている。日本中探してもない。島根県は先頭を走っている。社会教育をもっと頑張らなければいけない。島根の誇りうるものは、**派遣社会教育主事制度**を大事にして、それが大きな力になっているということだ。これが大事なことだ。

プロフィール

福間 敬明(ふくま ひろあき)

島根県公民館連絡協議会(県公連)前会長。松江市の中学校校長を退職後、平成元年から平成21年まで松江市忌部公民館館長。平成7年から県公連会長、平成14年から全国公民館連合会(全公連)副会長を務める。平成25年に県公連会長、全公連副会長を退く。全公連中四国地区ブロック選出理事。

社会教育実践者として大切なこと

—「基礎から学ぶ『しまねの社会教育』講座」の様子から—

東部・西部社会教育研修センターでは、社会教育指導者・行政担当者および社会教育にかかわる方の資質や力量の向上につながる学習機会を提供しています。

今回は、基礎研修「基礎から学ぶ『しまねの社会教育』講座」の内容から、社会教育実践者の皆さんのお役に立つ講座のポイントをお伝えします。



講義から学ぶpoint

「社会教育」を考える

この講座では、社会教育について説明しました。そのポイントを紹介します。

①生涯学習と社会教育の関係から

生涯学習＝「学ぶ者」に着目した概念

教育による学習

＝「教える者」と「学ぶ者」による行為

学校教育
による学習

家庭教育
による学習

社会教育による学習

(学校・家庭以外の広く社会で行われる教育)

自己学習

＝「学ぶ者」のみによる行為

(読書等の自主学習、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動、体験学習、趣味やレクリエーション活動における学習など)

※学校教育、家庭教育、社会教育の連携が必要

②学校教育と社会教育の比較から

	学校教育	社会教育
場所	学校	社会の中のあらゆる場 (社会教育施設 他)
主体	教師が(子どもを)	役割を分担 多様な人々
対象	子ども (年齢など同質・同学年の集団)	役割を分担・多様な人々
内容	学習指導要領等 によって決まっている 計画的・系統的・組織的	多様で柔軟な内容 具体的・実践的
方法形態	一斉授業中心 教え、教えられる 関係	多様な方法 (講義・参加型学習・現地見学会等) 相互の学び合い

③社会教育の意義

人々の生涯学習を振興する

人々の生活課題を解決する

地域課題を解決し地域の教育力を高める

個人および地域の自立を助ける

社会教育とは、『地域のみみんなを幸せにする・笑顔にする』と最近よく聞きます。そうなるように、公民館や社会教育行政は、意図的・計画的・組織的に仕組み作りや仕掛けをすることが求められているのではないのでしょうか。できることから始めていきましょう。



演習から学ぶpoint

「参加型学習」手法紹介

参加型学習には、様々なよさや意義があります。そのひとつに多様な考えが出やすい、学習者が主体的に話し合えることがあげられます。また、学習者の社会への主体的参加・参画を促す効果も期待されます。

この演習で用いた、「**即答型フリップ方式**」の手法を紹介します。テレビのバラエティー番組等でよく見られる、ゲストが問題に対する答えをフリップに書き、「ドン!」とみんなに見せて、話し合う方法です。

①特徴

■短い言葉でフリップに表すことで、焦点を絞って話すことができる。

■聴く側は、話し手の想いを想像しながら聴くことができ、話の要点をとらえやすい。

■段階的にテーマに迫ることで、話し合いを深めていくことができる。

■膝を交えて意見交換することができ、話し合いが盛り上がる。

②方法

(1) 4~6人程度のグループに分かれて、「質問」に対する「自分の考え」を短いキーワードにしてフリップに書く。

(2) グループの中でフリップを見せ合って意見を共有する。

(3) 何人かが全体に紹介する。

(4) これを繰り返す。
答えやすい内容からはじめ、最後にはテーマに迫る。



③ 実際の演習場面

■協議のテーマ「地域における社会教育の方向性を考える」

Q 「理想の『公民館』って?」



気軽に集える



地域課題を解決!!



憩いの場



頼りにされる存在

受講者の感想より

■社会教育とは何か、基礎から学ぶことができました。社会教育に携わり、地域を幸せにしていけるととても幸せな仕事なのだなと思いました。
(川本町 行政関係者)

■話し合いの手法(即答型フリップ方式)は自分でもすぐに使えそう。職場での研修や会議に取り入れたい。
(美郷町 学校関係者)

社会教育の実践紹介

松江市

「自分の学びを地域へ還元する」

八雲ジュニアサポーターズクラブ よしだ ともあき 吉田 知明

八雲ジュニアサポーターズクラブ(通称:ジュニサポ)は今年で結成10年目になります。わたしは中学を卒業した2007年から参加しました。地域がもっと元気になるように、自分たちにも何かできるかもしれない、また、いろんな人とつながりたいと思ってこの活動をはじめました。毎月1回地域の集会所に都合のつくメンバーが集まり、どんな活動をするのかを考え実践してきましたが、この7年間の経験から、中学生の時期に話し合いのスキルを身につけておけば、

八雲中、東出雲中合同ジュニアリーダー研修会の様子



研修タイム
グループ活動の様子

研修講義の様子

なごやかバラエティ笑にてジュニサポボランティア活動の様子



ポップコーンの販売、募金活動、舞台裏のサポートなどを手伝いました。

活動の幅はもっと広がったに違いないと考えるようになりました。

そこで、昨年12月、八雲中学校と東出雲中学校合同のジュニアリーダー研修会で講師として時間をいただきました。そこでは、地域の活性化をテーマに、「ファシリテーション(意見交換の手法)」や「ペイオフマトリクス(アイディアの評価方法)」を取り入れた話し合いの場を設けました。このような研修会を通して、メンバーそれぞれが学んで身につけた力を地域へ還元していってくれたらと考えています。

飯南町

活動を周知し みんなの公民館活動へ

～CATVでの公民館活動広報番組放映～

飯南町教育委員会 派遣社会教育主事 いいくに ひでただ 飯国 秀忠

平成24年度、飯南町の公民館広報番組「こんにちは公民館です!」をCATVいいなんネットで放送しました。公民館活動は、住民のみなさんの理解と参加が不可欠です。そこで、活動の内容や様子、目的、効果などをCATVを通して知ってもらおうと考えたからです。毎月の台本は、派遣社会教育主事と公民館主事で作成しました。



「わかまち ふるまい自慢」
ポスターの前で

公民館は、「子どもから大人まで様々な活動を行う地域の学校」「多くのスタッフによって支えられている」「主役は地域のみなさん」毎回、これらの言葉を、必ず織り交ぜ、「みんな

の公民館である」ことを伝えようと思いがけました。

この番組への影響は、予想以上に大きいものでした。「自分が参加した部分だけでなく、活動全体が分かった」とか「他地区の公民館活動にも参加したくなった」など、活動への理解や参加意欲が感じられる声も多くありました。また、番組のために集めた写真などを通して、各館の特徴や課題も見えてきたのも収穫でした。

今年度は、「あなたが主役!」という番組名で、引き続き、住民主体の社会教育に向けた広報活動に取り組んでいきます。



谷公民館の館長・主事とともに

8月～12月の主催講座のお知らせ

東部社会教育研修センター

8月	21日(水)	結集!事業	親学ファシリテーター フォローアップ研修	松江市
	28日(水)	結集!事業	親学ファシリテーター フォローアップ研修	出雲市
9月	11日(水)	専門研修	地域課題解決のための ファシリテート力アップ講座	隠岐の島町
	12日(木)			隠岐の島町
10月	13日(金)	結集!事業	親学ファシリテーター フォローアップ研修	隠岐の島町
	24日(木)	結集!事業 兼 基礎研修	第2回コーディネーター研修 人と人をつなげる コミュニケーション講座	松江市
11月	6日(水)	専門研修	学習プログラム 企画・立案力アップ講座	西ノ島町
	7日(木)			西ノ島町
12月	8日(金)	結集!事業	親学ファシリテーター フォローアップ研修	西ノ島町
	18日(水)	専門研修	地域課題解決のための ファシリテート力アップ講座	安来市

※日程や会場をやむを得ず変更する場合があります。
最新情報はホームページに記載しますので、ご確認ください。

市町村支援事業

市町村で社会教育に関する研修等を実施される際、より充実したものになるよう支援しています。
お気軽にお問い合わせください。

西部社会教育研修センター

8月	6日(火)	専門研修	学習プログラム 企画・立案力アップ講座	江津市
	7日(水)			江津市
9月	29日(木)	基礎研修	地域課題解決のための ワークショップ講座	益田市
	12日(木)	基礎研修	説明力を高める プレゼンテーション講座	大田市
10月	1日(火)	専門研修	地域課題解決のための ファシリテート力アップ講座	川本町
	2日(水)			川本町
11月	9日(水)	専門研修	学習プログラム 企画・立案力アップ講座	津和野町
	10日(木)			津和野町
11月	25日(金)	結集!事業 兼 基礎研修	第2回コーディネーター研修 人と人をつなげる コミュニケーション講座	いわみーる
	6日(水)	結集!事業	親学ファシリテーター フォローアップ研修	津和野町
11月	12日(火)	結集!事業	親学ファシリテーター フォローアップ研修	いわみーる
	27日(水)	基礎研修	地域課題解決のための ワークショップ講座	いわみーる

島根県視聴覚センター(サン・レイク2F)

社会教育・生涯学習に必要な視聴覚教材・機材・図書・市町村の資料の貸出・閲覧事業を行っています。

視聴覚教材・機材、図書等の貸出

- 視聴覚教材(ビデオ・DVD)5本以内…貸出期間10日
- 視聴覚機材(プロジェクタ・スクリーン)…貸出期間10日
- 図書等：5冊以内…貸出期間14日

受付時間

月曜日から金曜(祝日及び年末年始を除く)
午前9時から午後5時

視聴覚センターへの相談方法

電話・面談・FAX・メール・文書など

連絡先 島根県立東部社会教育研修センター

放送大学島根学習センター 浜田コーナー(いわみーる3F)

放送大学は、いつでも誰もがテレビ・ラジオ放送やインターネットを利用して学べる「開かれた大学教育」を目指して設置された通信制大学です。

◆利用について

■事業内容

テープ・CD等による放送授業の視聴
テープ・CD等の貸出(放送大学生のみ 7日間3本)

■受付時間

月曜日～金曜日(祝日および年末年始を除く)
午前9時から午後5時

連絡先 島根県立西部社会教育研修センター

編集スタッフから

「出雲の神様は 縁結びの神様」 その縁には、男女の縁だけではなく 人とひと・人とこととの縁をむすぶ…と聞いたことがあります。
『社会教育』は、“ひと”を大切に・“こと”を大切に・“地域”を大切に、丁寧にいていねいに優しくやさしく想いをこめて縁をむすんでいく。「出雲の神様」のような存在なのかな…。みなさまのキラキラした小さな想いや活躍を大切にみつめて、読んだり・見たりすることで元気になり、「自分もやってみよう」「がんばろう」と思っていたいただけるような、読んだひとが“トク”をするような情報誌をめざしたいと考えています。

東部社会教育研修センター

〒691-0074 出雲市小境町1991-2 サン・レイク2F
Tel.(0853)67-9060 Fax.(0853)69-1380

URL: http://www.pref.shimane.lg.jp/tobu_shakaikyoku/
E-mail: tobu_shakaikyoku@pref.shimane.lg.jp

西部社会教育研修センター

〒697-0016 浜田市野原町1826-1 いわみーる3F
Tel.(0855)24-9344 Fax.(0855)24-9345

URL: http://www.pref.shimane.lg.jp/seibu_shakaikyoku/
E-mail: seibu_shakaikyoku@pref.shimane.lg.jp

第15号は
11月末
発行予定

島根県立青少年の家 サン・レイク

青少年の家(サン・レイク)は、宍道湖北西岸に位置する小高い丘の上であり、幼児から青少年・成人・高齢者まで様々な年齢層の方々に、利用していただける施設です。学校や子ども会等の団体だけでなく、家族単位での研修もできますので、お気軽にお問い合わせください。

さまざまな体験・研修をサン・レイクで!

さまざまな体験活動に力を入れています!

主催事業

青少年の健全育成に資する事業等を実施します。

- 親子対象の事業
- 青少年対象の事業
- 新規プログラムの開発
- 青少年活動支援者の養成

※青少年や県民の多様な学習要求や社会の要請を受け、青少年の家でしかできない学習機会を企画しています。

サマーチャレンジ

小学5年～中学3年を対象に6泊7日の体験活動を実施します。1週間を仲間とともに過ごす中で、我慢すること、挑戦することなどを仲間とともに体験します。



キッズチャレンジ

小学1年～3年を対象に2泊3日、「英語の国」で過ごすことをねらいとして、12名の外国の方と川遊びやバーベキュー、調理活動と一緒にしました。

最初は緊張感がありましたが、だんだん接触も増えて笑顔が増えていきました。



子どもたちの体験活動の充実を図るために…

研修支援事業

利用者の自主的な研修を充実させるため、研修目的に沿ったプログラムを提供します。

子どもたちの体験活動を企画する際には、ねらいが大切です。ねらいに沿った体験プログラムとなるようプログラム相談を行います。

■ サン・レイクの活用の流れ



秋・冬に行う主催行事

事業名	対象・人数	日にち
サン・レイクフェスティバル	どなたでも	10月20日(日)
にんにんチャレンジ1	年長児～ 小学2年児童	11月23日(土) 24日(日)
にんにんチャレンジ2	年長児～ 小学2年児童	11月30日(土) 12月 1日(日)
青年対象事業	青年	12月21日(土) 22日(日)
ここにこファミリー冬	家族 20組	1月11日(土) 12日(日)

※募集人数は、HPをご確認ください。

島根県立青少年の家 サン・レイク

〒691-0074 出雲市小境町1991-2
Tel.(0853)69-1316 Fax.(0853)69-1016